

デザイン工学部環境理工学科 教育研究自己点検シート (2024年3月20日改正) 改正案

| | | | |
|---------|--------|-----|-----------|
| 点検・評価年度 | 2023年度 | 提出日 | 2024年4月4日 |
|---------|--------|-----|-----------|

| | | | |
|----|----|----|-------|
| 職位 | 教授 | 氏名 | 濱崎 竜英 |
|----|----|----|-------|

| 分野 | 評価項目 | 数・評価 |
|---|---|--------|
| 教育 | 授業コマ数は何コマ担当しましたか。(年度末の超過担当表を参照) | 15.6コマ |
| | 卒業研究生は何名受け持ちましたか。 | 10名 |
| | シラバスに沿った授業を行いましたか。 | Yes |
| | Noの場合、理由をお書きください。 | |
| | 学生授業アンケートの結果について <u>所見書</u> を提出しましたか。 | Yes |
| | 担当授業は15回開講しましたか。 | Yes |
| | 授業時間を守りましたか。 | Yes |
| | 学生からの質問や疑問に対し、適切に対応しましたか。 | Yes |
| | 学生の理解を深めるための工夫をしましたか。 | Yes |
| | 学生の課外活動(クラブ、プロジェクト共有など)を支援しましたか。 | Yes |
| 地区懇談会、三者面談に何回参加しましたか。 | 7回 | |
| 研究 | 著書や学術論文を何本発表しましたか。 | 3本 |
| | 内、単著数または共著の場合の第一著者数 | 1本 |
| | 代表的な著書または学術論文の情報を1本記入してください。 MANUFACTURING BONE CHARCOAL FOR CONSTRUCTING A FLUORINE REMOVAL SYSTEM IN GROUNDWATER | |
| | その他、書評などの発表を何回しましたか。 | 0回 |
| | 口頭発表(講演を含む)は何回しましたか。 | 2回 |
| | 知的財産を申請・登録を何件しましたか。 | 0件 |
| | 研究代表者として科学研究費補助金等競争的資金の申請をしましたか。 | No |
| | 科学研究費補助金等競争的資金を獲得しましたか。但し、代表者に限ります。 | No |
| | 学会・研究会等学術団体の業務に携わりましたか。 | No |
| | 大阪産業大学研究費の不正使用防止に関する規程、大阪産業大学研究活動に係る不正行為防止など本学の研究に関する規程を遵守しましたか。 | Yes |
| 本学のAPRIN eラーニングプログラムまたは研究倫理・コンプライアンス研修を受講しましたか。 | Yes | |

削除: 初見

書式を変更: フォントの色: テキスト 1

書式を変更: フォントの色: テキスト 1

| | | |
|------|--|--|
| | 研究関係の功績で表彰されましたか。 | No |
| 社会連携 | 公的機関またはそれに準ずる機関の委員等をいくつか務めましたか。 | 3件 |
| | 学会以外の講演活動を何回しましたか。 | 1回 |
| | いくつかのNPO等の役職等(理事、監事、事務局など)を務めましたか。 | 5回 |
| | いくつかのNPO等の活動を企画・運営しましたか。 | 1回 |
| | 何件の受託研究、奨学寄附金を獲得しましたか。 | 0件 |
| | 代表的な受託研究、奨学寄付金の相手の情報を可能な範囲で1件記入してください。 | |
| 学務 | どのような役職または各種委員に携わりましたか。 | 学科主任、カリキュラム委員 新学部・学科設置準備委員会委員 建築WGリーダー |
| | 大学・学部・学科が求めたどのような学務(人事委員会、出題採点、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス、展示会など)に携わりましたか。 | 人事委員会(昇進)1件 高校訪問3件 オープンキャンパス2件 |
| | 学務のうち出張講義・高校での説明会を何回しましたか。 | 出張講義 0回 分野別説明会 0回 |
| | どのような学科独自委員、メンバーに携わりましたか。 | 教務P |

書式を変更: フォントの色: テキスト 1

書式を変更: フォントの色: テキスト 1

書式を変更: フォントの色: テキスト 1

| | |
|---|---|
| 自己点検総合評価 S: 4つの分野において、十分に達成し、さらに特に秀でた成果をあげた。 A: 4つの分野において、十分に達成した。 B: 2~3の分野において、十分に達成したが、1~2の分野において、改善が必要と思われる。 C: ほとんどの分野において、改善が必要と思われる。 | A |
|---|---|

| |
|--|
| 1年間を振り返り、教育、研究、社会連携、学務など多面的な視点から、大阪産業大学の教員としての活動を簡潔に取りまとめで評価するとともに、次年度の目標を記述してください。 |
| 教育: 担当した授業についてすべて実施した。また、水環境工学については授業改善アンケートを実施するとともに、環境資格対策1&2については独自に授業改善アンケートを実施した。 |
| 研究: 6月22日に開催された日本オゾン協会年次研究講演会で発表するとともに、GEO-MATEの国際学会にProceedings(査読あり)を提出して発表した。 |
| 学務: 学科主任として、学科運営に携わるとともに、9月からスタートした再編の作業に関わった。 |
| 社会貢献: 大東市の2委員会については、会議日程が合わず出席しなかった。猪名川河川レンジャー運営委員会はオンラインで出席した。 |
| 2024年度も引き続き、学科主任として学科運営を円滑に務めるとともに、再編作業に尽力したい。 |

また、著書（単著）1本を発刊予定である。

*ただし、4月1日～3月31日までの1年間を対象とする。